

広げよう！子どもの権利条約キャンペーン・ローンチイベント
子どもの権利条約を普及・実現し、子どもに対する暴力をなくす
～国連採択 30 年、日本批准 25 年、第4回国連審査を受けて～

1. 概要

イベント名	子どもの権利条約を普及・実現し、子どもに対する暴力をなくす ～国連採択 30 年、日本批准 25 年、第 4 回国連審査を受けて～
日時	2019 年 4 月 22 日 (月) 15:00～17:30 (受付 14:40～)
会場	衆議院第二議員会館 第一会議室
定員	定員 100 名
主催	広げよう！子どもの権利条約ネットワーク 実行委員会
後援	公益財団法人 日本ユニセフ協会、ユニセフ議員連盟、超党派ママパパ議員連盟
参加費	無料

2. 目的・ねらい

- 2019 年は国連子どもの権利条約が採択されて 30 年、それを日本が批准して 25 年の年であること、同条約に関する国連子どもの権利委員会審査が行われ、日本政府への勧告が出された内容について知らせ、日本の子どもの権利条約の実施状況についての現状・課題を共有し、今後の実施推進に向けた具体的方法について、政府、議員、市民社会などが、建設的な対話を行う。
- 2015 年の国連総会で採択された「持続可能な開発目標 (SDGs: Sustainable Development Goals)」の宣言文にある「子どもたちに投資し、すべての子どもが暴力や搾取から解放される世界」実現に向け、重要な子どもの権利に関する課題としても審査で指摘された「子どもに対する暴力」について、議論を深める。
- 子ども権利条約の存在や意義、その現状について、一般市民に知られるよう世論喚起する。
- 「広げよう！子どもの権利条約キャンペーン」の開始により、国内の様々な組織が連携して子どもの権利の実現・普及のために取り組むことをアピールし、さらに市民社会組織や個人の参加者を呼びかけ、キャンペーンを盛り上げるきっかけとする。

■内容

- 基調講演：「子どもの権利条約と委員会による実施状況の審査」
国連子ども権利委員会委員 大谷美紀子氏
- 子どもたちからの発言
 - フリー・ザ・チルドレン・ジャパンに関わる子どもたち
- パネルトーク：「子ども権利の視点から、子どもへのあらゆる暴力をなくすために私たちができること」
 - 国連子ども権利委員会による日本政府への総括所見概要：子どもの人権連代表委員 平野裕二氏
 - 体罰禁止法制化と今後の課題：セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 国内事業部長 川上園子氏
 - コメント：子どもの権利委員会委員 大谷美紀子氏、フリー・ザ・チルドレン・ジャパンに関わる子どもたち
 - 関係省庁からのコメント：関係省庁より数名（依頼中）
 - 質疑応答
- 「広げよう！子どもの権利条約キャンペーン」開始宣言：キャンペーン共同代表 荒牧重人氏、喜多明人氏、甲斐田万智子氏
- 国会議員からのあいさつ、コメント（予定）

■参加者（予定）

国会議員、厚生労働省、外務省、文部科学省、NPO 関係者、研究者、一般市民、メディア